

アンケート調査結果（速報版）概要版

平成28年 11月

第1章 アンケート調査概要

1.1 調査概要

①実施内容

- ・市民アンケート調査、公共交通利用者アンケート調査、新駅設置予定地周辺住民アンケート調査の3種類を実施。

②調査期間

	調査期間
市民アンケート調査 新駅設置予定地周辺住民アンケート調査	平成28年10月17日(月)～平成28年10月30日(日)
公共交通利用者アンケート調査	平成28年10月20日(木)、10月22日(土)～ 平成28年10月30日(日)

③調査対象

	調査対象
市民アンケート調査	15歳以上の糸魚川市民から無作為に抽出
公共交通利用者アンケート調査	糸魚川市内の主要駅、停留所の利用者に配布 ※平成27年度における鉄道、バス乗降調査結果より利用者の多い駅、停留所を抽出し選定。
新駅設置予定地周辺住民アンケート調査	15歳以上の糸魚川市民で、新駅設置予定地周辺にお住まいの方から無作為に抽出

※公共交通利用者アンケート調査配布場所及び配布日数

	配布場所	10月20日(木)	10月22日(土)
北陸新幹線	「糸魚川駅」改札口前	342	245
鉄道	えちごトキめき鉄道及びJR大糸線「糸魚川駅」改札口前	320	538
	えちごトキめき鉄道「能生駅」	228	76
	えちごトキめき鉄道「青梅駅」	97	49
バス	「糸魚川駅日本海口」バス停前	225	49
	「糸魚川駅アルプス口」バス停前	14	17
	「糸魚川総合病院」バス停前	70	39
	「能生案内所」バス停前	61	67
	「横町五丁目」バス停前	52	24
	計	1,409	1,104

④実施方法

	実施方法
市民アンケート調査 新駅設置予定地周辺住民アンケート調査	アンケート票の郵送、同封の返信用封筒にて回収
公共交通利用者アンケート調査	改札を通る乗降客、または停留所でバスを利用する乗降客に手渡しにて配布、同封の返信用封筒にて回収

⑤配布数・回収数・回収率

	配布数	回収数	回収率
市民アンケート調査	1,000	463	46.3%
公共交通利用者アンケート調査	2日間合計:2,513	616	24.5%
	10月20日(木):1,409		
	10月22日(土):1,104		
新駅設置予定地周辺住民アンケート調査	2駅周辺合計:2,000	901	45.1%
	内訳:今村新田駅周辺 1,000	480	48.0%
	押上駅周辺 1,000	418	41.8%
合計	5,513	1,980	35.9%

※新駅設置予定地周辺住民アンケート調査の回収数は、2駅どちらかの特定が出来なかったものが、3通あったため、合計が一致しない。

1.2 集計結果の表記について

- ・設問の後ろに (SA)、(MA)、(FA) と表記している。これは、それぞれの質問の回答方法を示しており、SA⇒単数回答 (Single Answer)、MA⇒複数回答 (Multi Answer)、FA⇒自由筆記 (Free Answer) を意味する。
- ・回答結果の割合 (%) は、サンプル数に対する回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入しており、合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答結果の図表中で「無回答」としているものは、その設問に対して回答されていないもの、回答方法が誤っているもの、判読が困難なものの総計である。
- ・設問、回答項目は一部省略して表記することがある。

1.3 アンケート調査結果 (速報版) の構成について

- ・今回実施した 3 種類のアンケートは共通の設問がある。
- ・共通の設問は出来る限りまとめて記載している。そのため、各アンケートの問の順番と、本速報版における結果記載の順番が異なる場合がある。
- ・回答結果は (1) ~ (48) にまとめ直し、本速報版を構成した。
- ・また、調査結果の各設問の見出しに、
【共通:市・問1 利・問1 駅・問1】 の様に、問の対応を記載している。

第2章 アンケート調査結果（速報）

2.1 回答者の属性

(1) 性別 (SA) 【共通:市・問1 利・問1 駅・問1】

■全回答者の52.2%が「女性」、45.0%が「男性」。

(2) 年齢 (SA) 【共通:市・問2 利・問2 駅・問2】

■全回答者でみると、「65～69歳」が最も多く、次いで「80歳以上」、「60～64歳」。60歳以上の回答が全体の56.5%となる。

■利用者アンケートは、市民アンケート、新駅周辺住民アンケートよりも「15～19歳」の回答が多い。

(3) 職業 (SA) 【共通:市・問3 利・問3 駅・問3】

■通勤・通学が発生すると考えられる職業（「会社員・団体職員」「公務員」「パート・アルバイト」「高校生」「大学生・専門学校生」）を合わせると、全回答者では45.8%、市民アンケートでは35.0%、利用者アンケートでは51.6%、新駅周辺住民アンケートでは47.2%。

■利用者アンケートでは高校生の回答が他のアンケートよりも約5%程度高い。

(4) 居住地 (SA) 【共通:市・問4 利・問4 駅・問4】

■市民アンケート、利用者アンケートともに「糸魚川地域」が最も多く、次いで「能生地域」、「青海地域」の順。

■新潟県内からの利用者は6.7%、県外からの利用者は11.4%であった。

■今村新田駅予定地周辺の回答は53.3%、押上駅予定地周辺の回答は46.4%。

(5) 同居の状況 (MA、ALL) 【共通:市・問5 利・問5 駅・問5】

■同居については「配偶者」が最も多く63.8%、次いで「自分の親」、「大学生以上」が20.9%。

■新駅周辺住民アンケートでは他アンケートよりも「小学生～高校生」の回答が多い。

(6) 自動車の保有状況 (SA) 【共通:市・問6 利・問6 駅・問6】

■「自分で自由に使える車をもっている」方は全体の63.8%。「自分は持たないが家族が車を持っている」の回答を含めると、自動車を利用して移動している割合は、全体の82.3%である。

■一方、「車を持っていない」の割合は、全体の16.9%。

■「車を持っていない」の回答は、市民アンケート13.8%、新駅周辺住民アンケート11.1%に対し、利用者アンケート34.6%と2割程度高い。

(7) 運転免許の有無 (SA) 【共通:市・問7 利・問7 駅・問7】

- 運転免許証を「持っている」の回答は、全体の71.7%を占める。
- 「持っていたが返納した」、「持っていない」の回答は、市民アンケート24.2%、新駅周辺住民アンケート21.3%に対し、利用者アンケートでは39.5%と15%程度高い。

(8) 自宅の最寄駅 (FA) 【共通:市・問8 利・問8 駅・問15】

- 市民、利用者アンケートでは、「糸魚川駅」が最も多く、次いで「能生駅」、「青海駅」の順。JR大糸線沿線の駅の回答は、市民、利用者アンケートともに5%以下であった。
- 新駅周辺住民アンケートでは、「糸魚川駅」が最も多く、次いで「青海駅」、「梶屋敷駅」の順。
- 利用者アンケートは市民、新駅周辺住民アンケートと比較して徒歩の割合が高い。
- 最寄駅までの所要時間は「0～20分」の回答が全体の83.2%である。

(9) 新駅整備後の自宅の最寄駅 (SA) 【駅・問16】

- 新駅整備後の最寄り駅は糸魚川駅、青海駅、梶屋敷駅から今村新田駅、押上駅に変わる住民が全体の79.0%となる。
- 新駅整備前と整備後では、移動手段の「車」が38.0%減少し、「徒歩」が32.4%増加している。

2.2 日常の移動や交通利用の状況について

(11) 外出目的ごとの「頻度」、「時間帯」、「交通手段」、「目的地」 【共通:市・問10 利・問10 駅・問9】

(11)-1 頻度 (SA)

- 「①通勤・通学」は「週5日以上」の割合が高い。
- 「②食料品の買い物」は、「週に1～2日」以上の頻度で外出している割合は市民アンケート91.1%、利用者アンケート79.4%、新駅周辺住民アンケート87.7%である。また、「週に3～4日」以上ではそれぞれ54.6%、46.6%、52.1%となる。
- 「③衣料品の買い物」、「④通院、通所」、「⑤公共施設・金融機関」は「月に1～2日」が最も多い。
- 「⑥趣味・娯楽」は「週に1～2日」から「年に数回」の回答が全体の7割を占める。

(11)-2 移動時間帯(行き・帰り) (SA)

- 行きの移動時間帯は、朝「7時～10時」の回答が多く、特に「10時」台で最も移動者数が多くなる。
- 帰りの時間帯は「11時～12時」、「15時～19時」と時間帯が分散している。
- 市民アンケートにおける帰りの時間は「②食料品の買い物」「④通院、通所」による帰宅で「11～12時台」が最も多い。「17～18時台」は「①通勤・通学」、「②食料品の買い物」、「③衣料品の買い物」等の帰宅が重なり、回答が多い。
- 利用者アンケートでは市民アンケートよりも出発時間では「7時～8時台」の利用者が多い。
- 新駅周辺住民アンケートでは、「9時～10時台」に出発すると回答した人が多い。

(11)-3 交通手段 (MA・ALL)

- 市民アンケート、新駅周辺住民アンケートでは、「①通勤・通学」、「②食料品の買い物」、「③衣料品の買い物」、「⑤公共施設・金融機関」、「⑥趣味・娯楽」で、「車(自分で運転)」「車(家族等が運転)」の割合が回答者全体の7割～9割を占める。
- 「えちごトキめき鉄道」、「路線バス」等の公共交通に関する回答が多いのは、「④通院、通所」で12.1%、「⑥趣味・娯楽」で10.6%である。
- 利用者アンケートの公共交通を利用している割合は「①通勤・通学」55.2%、「④通院、通所」36.5%。

	① 通勤・通学 (n=182)	② 食料品の 買い物 (n=309)	③ 衣料品の 買い物 (n=197)	④ 通院 ・通所 (n=257)	⑤ 公共施設 ・金融機関 (n=186)	⑥ 趣味 ・娯楽 (n=161)	⑦ その他の 目的 (n=60)
車(自分で運転)	73.1%	57.3%	67.0%	46.3%	67.2%	62.1%	45.0%
車(家族等が運転)	5.5%	18.1%	26.4%	20.6%	13.4%	19.9%	15.0%
徒歩	12.6%	15.2%	9.1%	11.7%	11.3%	9.9%	8.3%
自転車	7.7%	9.7%	6.1%	6.2%	9.1%	5.0%	1.7%
原付・バイク	1.1%	1.0%	0.5%	0.8%	0.5%	1.2%	3.3%
JR大系線	1.1%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
えちごトキめき鉄道	2.7%	0.6%	3.0%	1.6%	0.0%	5.0%	1.7%
北陸新幹線	0.5%	0.0%	1.5%	0.4%	0.0%	6.8%	16.7%
路線バス	6.0%	3.6%	4.6%	10.5%	1.1%	5.6%	8.3%
高速バス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	6.7%
コミュニティバス	0.0%	0.3%	0.5%	0.4%	0.0%	0.6%	0.0%
乗合タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他のバス	0.5%	0.3%	0.5%	0.8%	0.0%	1.2%	3.3%
タクシー	0.0%	0.3%	0.0%	2.3%	1.1%	1.2%	5.0%
その他の移動手段	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

公共交通による移動手段

市民アンケート

※MAは(回答数)/(回答者数)として割合を算出しているため、合計が100%にならない

	① 通勤・通学 (n=297)	② 食料品の 買い物 (n=347)	③ 衣料品の 買い物 (n=240)	④ 通院 ・通所 (n=298)	⑤ 公共施設 ・金融機関 (n=210)	⑥ 趣味 ・娯楽 (n=253)	⑦ その他の 目的 (n=80)
車(自分で運転)	42.8%	54.5%	56.3%	43.6%	52.9%	52.6%	35.0%
車(家族等が運転)	17.8%	17.0%	27.9%	15.1%	8.6%	18.2%	7.5%
徒歩	30.3%	28.0%	9.6%	14.4%	31.9%	16.2%	18.8%
自転車	18.2%	12.4%	7.5%	7.7%	14.8%	8.3%	1.3%
原付・バイク	1.0%	2.0%	1.3%	2.3%	1.9%	1.2%	1.3%
JR大系線	1.3%	1.7%	0.4%	1.0%	1.4%	1.6%	2.5%
えちごトキめき鉄道	33.3%	1.7%	8.3%	6.7%	1.0%	13.8%	27.5%
北陸新幹線	6.1%	0.0%	2.9%	0.7%	0.0%	10.7%	20.0%
路線バス	13.8%	10.7%	5.0%	25.5%	8.6%	9.1%	20.0%
高速バス	0.0%	0.3%	1.7%	0.0%	0.0%	2.8%	2.5%
コミュニティバス	0.0%	1.4%	0.4%	1.3%	0.0%	0.4%	0.0%
乗合タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	1.3%
その他のバス	0.7%	0.3%	0.4%	1.0%	0.5%	0.0%	1.3%
タクシー	1.0%	2.0%	0.4%	4.7%	1.0%	2.0%	5.0%
その他の移動手段	5.4%	0.9%	1.7%	1.3%	1.9%	4.3%	7.5%

利用者アンケート

※MAは(回答数)/(回答者数)として割合を算出しているため、合計が100%にならない

	① 通勤・通学 (n=464)	② 食料品の 買い物 (n=673)	③ 衣料品の 買い物 (n=501)	④ 通院・通所 (n=570)	⑤ 公共施設・金融機関 (n=480)	⑥ 趣味・娯楽 (n=458)	⑦ その他の 目的 (n=116)
車(自分で運転)	68.8%	65.2%	70.7%	56.7%	67.7%	61.8%	50.0%
車(家族等が運転)	8.4%	18.4%	26.9%	12.8%	11.3%	16.6%	10.3%
徒歩	10.3%	12.3%	2.4%	9.9%	10.6%	5.2%	7.8%
自転車	9.5%	9.2%	2.6%	4.2%	7.5%	5.2%	3.4%
原付・バイク	1.3%	1.8%	1.2%	1.2%	2.3%	2.0%	1.7%
JR大糸線	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
えちごトキめき鉄道	2.4%	0.4%	1.4%	1.2%	0.0%	3.3%	9.5%
北陸新幹線	0.4%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%	6.1%	14.7%
路線バス	4.1%	2.7%	2.6%	6.3%	1.9%	2.6%	7.8%
高速バス	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.9%	5.2%
コミュニティバス	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
乗合タクシー	0.0%	0.3%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%	0.0%
その他のバス	0.2%	0.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.4%	0.9%
タクシー	1.3%	0.4%	0.4%	2.3%	0.2%	0.7%	4.3%
その他の移動手段	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.2%	0.7%	0.0%

公共交通「公共交通による移動手段」

新駅周辺住民アンケート

※MAは(回答数)/(回答者数)として割合を算出しているため、合計が100%にならない

(12) おでかけに関する現在と将来の考え (SA) 【共通:市・問11 利・問11 駅・問11】

- 現在の移動に関しては市民、利用者、新駅周辺住民アンケートともに、「ひとりで移動可能」、「大変だがひとりで移動可能」の回答が8~9割を占める。
- 将来の移動に関しては、市民アンケートでは、「②食料品の買い物」、「③衣料品での買い物」、「④通院、通所動」等、日常生活の移動に関して「不安がある」と回答している人が46.0~48.5%。そのうち、「移動に不安がありかなり難しくなると思う」と回答している人は14.0~18.9%である。

(13) おでかけに不便を感じているか (SA) 【共通:市・問12 利・問12 駅・問12】

- 全回答者の内、「とても不便と感じる」「不便と感じる」の回答は全体の24.1%。
- おでかけに「不便と感じる」と回答した人の割合は、市民アンケート19.1%、利用者アンケート37.0%、新駅周辺住民アンケート17.8%と公共交通利用者の方が「おでかけが不便である」と感じている割合が高い。

項目	回答数 合計	割合	市民 アンケート		利用者 アンケート		新駅周辺 アンケート	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても不便と感じる	110	5.6%	22	4.8%	53	8.6%	35	3.9%
不便と感じる	366	18.5%	66	14.3%	175	28.4%	125	13.9%
あまり不便と感じない	694	35.1%	170	37.0%	190	30.8%	334	37.1%
不便と感じない	637	32.2%	168	36.5%	135	21.9%	334	37.1%
無回答	170	8.6%	34	7.4%	63	10.2%	73	8.1%
合計	1977	100.0%	460	100.0%	616	100.0%	901	100.0%

(14) おでかけに不便を感じる点 (MA・ALL) 【共通:市・問13 利・問13 駅・問13】

- 「鉄道やバスの運行本数が少ない」、「目的の時間に鉄道やバスが運行していない」、「鉄道やバスの乗り換えが不便」への回答が多い。運行ダイヤや乗継に関する項目では「不便と感じる」という回答が多い。
- 「誰かに頼まないと車で移動できない」の回答は市民アンケート 25.0%、利用者アンケート 16.7%、新駅周辺住民アンケート 23.1%と、利用者アンケートの割合が少ない。
- 「介助や杖等が必要で、元々おでかけが困難」の回答は、新駅周辺住民アンケートが他のアンケートよりも割合が高い。

(15) 日常のおでかけを不安に思う点 (MA・ALL) 【共通:市・問14 利・問14 駅・問14】

- 全回答者数の内、「自分の身体機能が低下し、長い時間歩けなくなる」の回答が最も多く、36.4%である。
- 「自分が車を運転できなくなる」と「家族が車を運転できなくなる」への回答は 50.0%を占めている。
- 「今使っている公共交通機関の減便や廃止が不安」の回答は市民アンケート 24.6%、利用者アンケート 37.2%、新駅周辺住民アンケート 23.6%。
- 一方で、「不安に思わない」への回答は全体の 16.4%である。

項目	回答数 合計	割合	市民 アンケート (n=463)		利用者 アンケート (n=616)		新駅周辺 アンケート (n=901)	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
自分が車を運転できなくなる	649	32.8%	162	35.0%	146	23.7%	341	37.8%
家族が車を運転できなくなる	341	17.2%	90	19.4%	89	14.4%	162	18.0%
自分の身体機能が低下し、長い時間歩けなくなる	721	36.4%	182	39.3%	211	34.3%	328	36.4%
現在の鉄道、バス、乗合タクシー等公共交通機関はダイヤや運行便数が不便	581	29.3%	124	26.8%	207	33.6%	250	27.7%
今使っている公共交通機関の減便や廃止が不安	556	28.1%	114	24.6%	229	37.2%	213	23.6%
公共交通機関の使い方がわからない	88	4.4%	20	4.3%	13	2.1%	55	6.1%
公共交通機関の利用は経済的に負担が大きい	233	11.8%	54	11.7%	67	10.9%	112	12.4%
その他	77	3.9%	19	4.1%	23	3.7%	35	3.9%
不安に思わない	325	16.4%	75	16.2%	74	12.0%	176	19.5%
無回答	222	7.0%	47	10.2%	92	14.9%	83	9.2%

※MAは(回答数)/(回答者数)として割合を算出しているため、合計が100%にならない

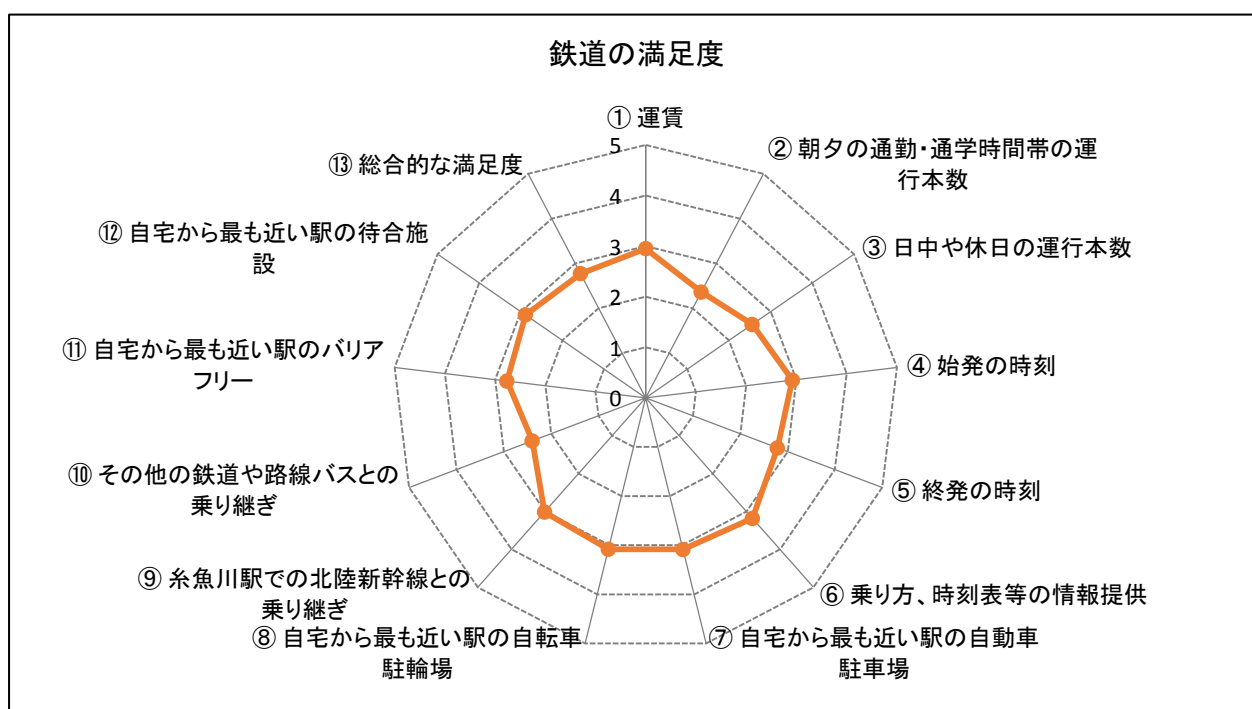
2.3 公共交通の満足度について

(17) 市内鉄道全体の満足度 (SA) 【利・問16】

※回答に対して、「大いに満足：5点、やや満足：4点、普通：3点、やや不満：2点、大いに不満：1点」として平均値を算出した。

- 「⑨糸魚川駅での北陸新幹線との乗り継ぎ」では平均値の3を得ている。
- 「乗り方、時刻表等の情報提供」は、全体の中で満足度が高い。運行の時刻や鉄道の乗り方に関しては一定程度の理解があると考えられる。
- 全体的に平均値の3を下回る項目が多い。「②朝夕の通勤・通学時間帯の運行本数」、「③日中や休日の運行本数」等運行本数に関して満足度が低い。また、「⑩その他の鉄道や路線バスとの乗り継ぎ」に関して満足度が低い。

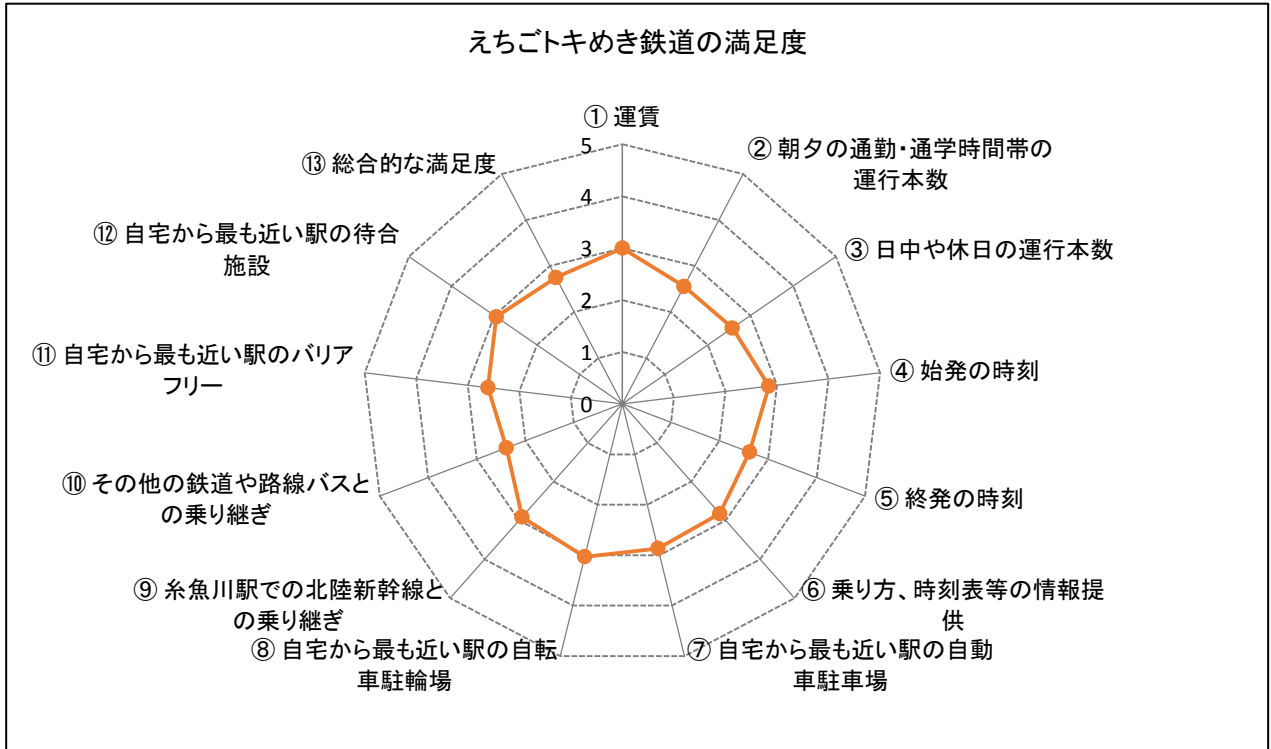
利用者アンケート 満足度



(18) えちごトキめき鉄道の満足度 (SA) 【市・問15】

- 運行本数、乗り継ぎに関する項目の満足度が低く、特に、「⑩その他の鉄道や路線バスとの乗り継ぎ」への満足度が全体の中で最も低い。
- 「①運賃」、「⑧自宅から最も近い駅の自転車駐輪場」で平均値3を上回る。

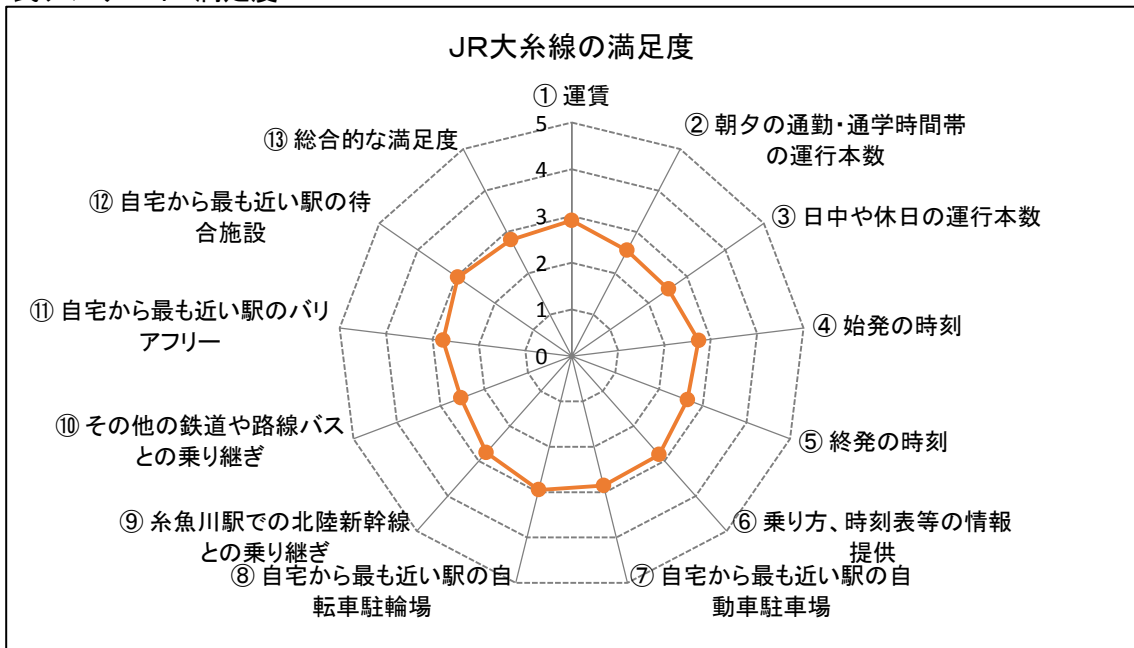
市民アンケート 満足度



(19) JR大糸線の満足度 (SA) 【市・問16】

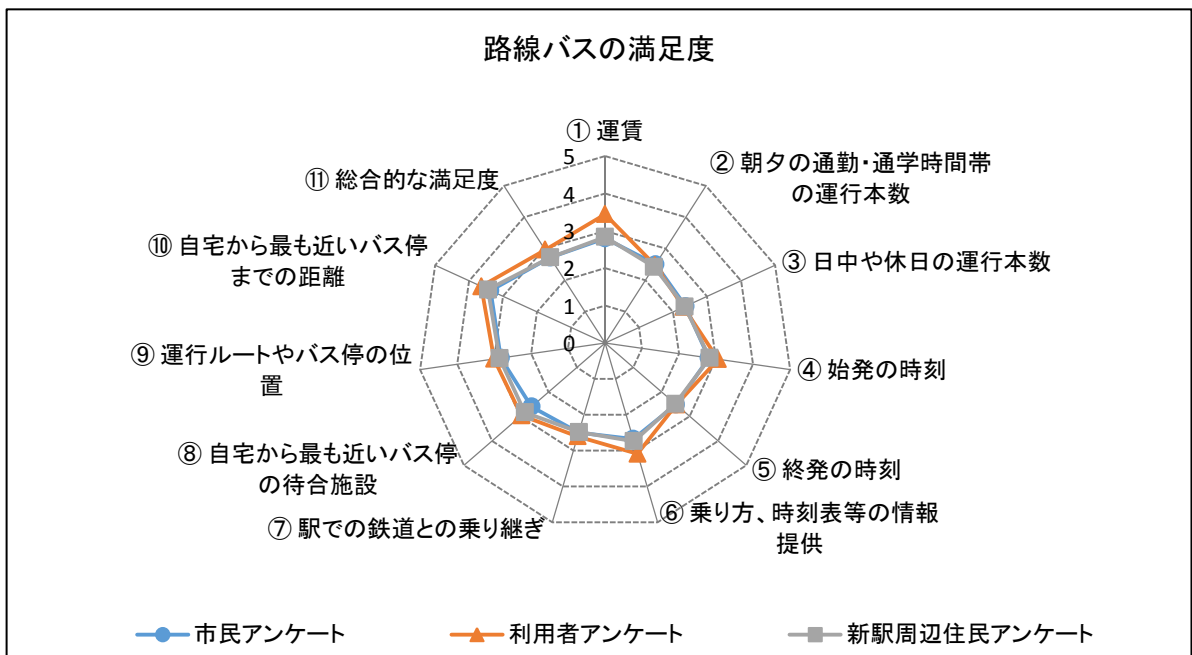
- 全ての項目で平均値が低く、特に「②朝夕の通勤・通学時間帯の運行本数」、「③日中や休日の運行本数」、「⑩その他の鉄道や路線バスとの乗り継ぎ」の満足度の平均値が 2.52~2.55。
- 「わからない、無回答」の割合が 68.5~79.7%。

市民アンケート 満足度



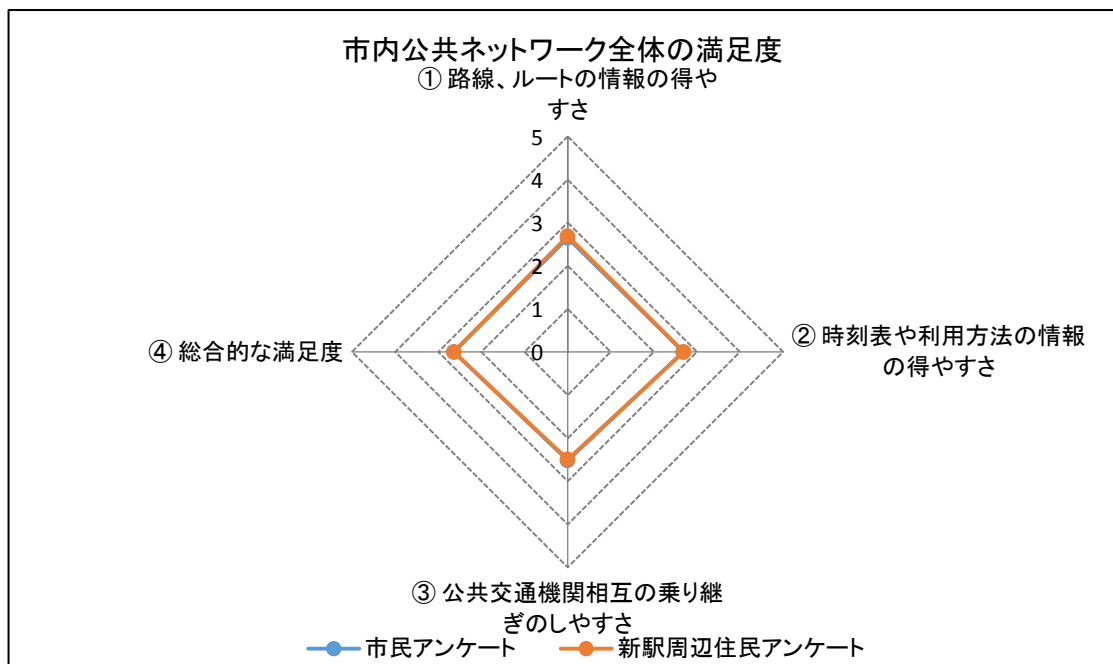
(21) 路線バスの満足度 (SA) 【共通:市・問17 利・問22 駅・問25】

- 新駅周辺住民アンケートでは、「⑩自宅から最も近いバス停までの距離」以外の項目で平均値3を下回っている。
- 利用者アンケートでは、市民、新駅周辺住民アンケートよりも満足度が上回っている項目が多く、「①運賃」、「④始発の時刻」、「⑥乗り方、時刻表等の情報提供」、「⑨運行ルートやバス停の位置」、「⑩自宅から最も近いバス停までの距離」で新駅周辺住民アンケートよりも満足度が上回り、平均値3を超えている。
- 「⑪総合的な満足度」では市民、利用者、新駅周辺住民アンケート、ともに平均値3を下回っている。



(23) 市内公共交通ネットワーク全体の満足度(SA) 【共通:市・問19 駅・問26】

- 4つの項目で平均値3を下回る。市民アンケート、新駅周辺住民アンケートともに「③公共交通機関相互の乗り継ぎのしやすさ」の項目が低い。
- 市民アンケート、新駅周辺住民アンケートで変化が出ない結果となった。



(24) えちごトキめき鉄道の利用頻度(SA) 【共通:利・問17 駅・問10】

- 「利用していない」の回答が最も多く49.6%、次いで「年に数回」25.5%である。
- 「週に1～2日」以上利用していると回答した人は10.0%である。
- 「冬季や悪天候時に不定期に利用している」の回答は全体の1.3%である。

(25) JR大糸線の利用頻度(SA) 【利・問18】

- 「利用していない」の回答が最も多く74.7%、次いで「年に数回」14.3%であり、全体の89.0%が年に数回程度または利用していない。
- 「冬季や悪天候時に不定期に利用している」の回答は全体の0.6%であり、JR大糸線の利用は天候に影響されない。

(26) 路線バスの利用頻度 (SA) 【市・問23】

- 「利用していない」の回答が最も多く36.5%、次いで「年に数回」12.5%である。
- 週に「1～2日」以上利用していると回答した人は21.1%であり、鉄道よりも路線バスの利用頻度は高い。
- 「冬季や悪天候時に不定期に利用している」の回答は全体の4.2%である。

2.4 えちごトキめき鉄道の新駅計画と利用可能性について

(27) 新駅が整備されたときどのように利用したいか(MA・ALL) 【駅・問17】

- 「旅行・出張」の回答が最も多く37.1%、次いで「趣味・娯楽」が19.3%である。
- 「通勤・通学」、「食料品の買い物」、「衣料品の買い物」、「通院・通所」、「公共施設・金融機関」等、普段のお出かけへの回答は59.2%。普段のお出かけでは「通院・通所」への回答が16.1%と最も高い。
- 「利用しない」への回答は23.6%。

(28) 新駅周辺整備に期待する設備 (SA) 【駅・問18】

- 「必ずほしい」の回答が多い項目は「トイレ」、「駐車場」、「送迎車両用の停車スペース」、「駐輪場」の順。
- 「新駅にアクセスするバス路線」、「新駅にアクセスする道路」、「自動販売機」は「どちらでもよい」の回答が他の項目と比較して多い。

項目	必ず欲しい	出来ればほしい	どちらでもよい	あまり必要ない	不要	わからない
トイレ	570	158	41	10	12	12
新駅にアクセスするバス路線	269	232	139	47	37	24
新駅にアクセスする道路	329	156	125	40	50	23
駐輪場	411	196	75	20	16	22
駐車場	463	201	65	21	19	16
送迎車両用の停車スペース	421	201	81	14	17	17
自動販売機	236	198	155	61	63	22
売店	98	125	207	93	161	25

(29) 新駅周辺整備に期待する設備に関する自由記述 (FA) 【駅・問19】

■自由意見として137件の回答があり、「駅のバリアフリー」、「十分な待合スペース」、「防犯設備」、「公園やコミュニティ機能」などの意見があった。

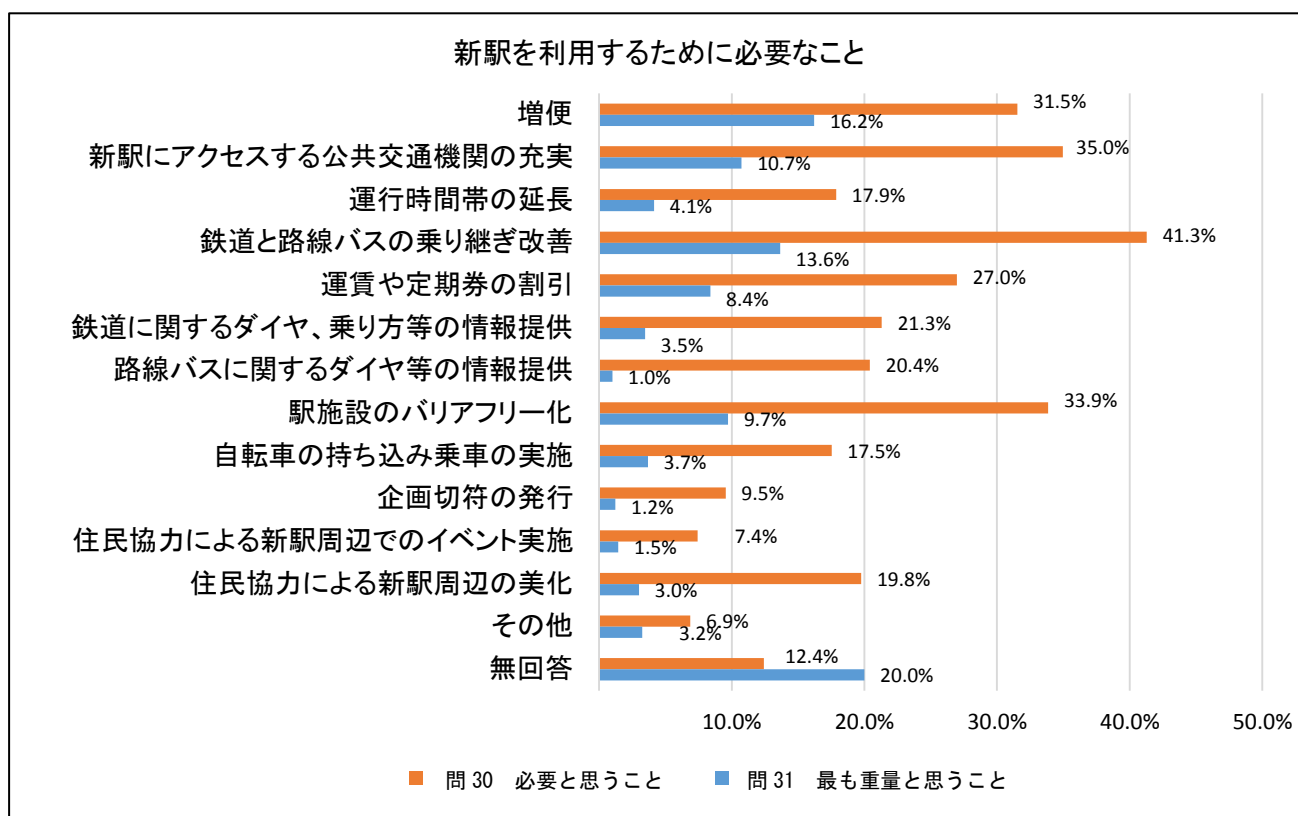
(30) 新駅、えちごトキめき鉄道を利用するために必要と思われること (MA・ALL) 【駅・問20】

■「鉄道と路線バスの乗り継ぎ改善」が最も高く41.3%、次いで、「新駅にアクセスする公共交通機関の充実」35.0%、「駅施設のバリアフリー化」33.9%、「増便」31.5%の順。公共交通の利便性や便数に関する項目への回答が多い。

■「鉄道に関するダイヤ、乗り方等の情報提供」21.3%、「路線バスに関するダイヤ等の情報提供」20.4%と、公共交通に関する情報提供を必要とする回答は2割程度。

(31) (30)の内最も重要と思われること (SA) 【駅・問21】

■最も重要と思われることで最も多かった回答は「増便」16.2%。次いで「鉄道と路線バスの乗り継ぎ改善」13.6%、「新駅にアクセスする公共交通機関の充実」10.7%の順。



(32) 新駅整備やえちごトキめき鉄道に関する自由記述 (FA) 【駅・問22】

■自由意見として236件の回答があり、「通学利用のため整備を求める意見」、「自転車の持ち込みへの期待」、「(1編成あたりの)車両増への意見」、「美化や防犯への意見」などがあつた。

2.5 観光列車「せつげっか」について

(33) 雪月花について (SA) 【共通:市・問20 利・問19 駅・問23】

- 雪月花を「知っている」と回答した人は 70.5%。「知っているが利用したことがある」は 1.3%、「知っているが利用したことがない」は 69.2%である。
- 「知っている」の回答は、市民アンケート 65.7%、利用者アンケート 77.6%と利用者アンケートの方が 11.9%高い。

項目	回答数 合計	割合	市民 アンケート		利用者 アンケート		新駅周辺 アンケート	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
知っていて利用したことがある	26	1.3%	6	1.3%	10	1.6%	10	1.2%
知っているが利用したことがない	1370	69.2%	298	64.4%	468	76.0%	604	70.3%
知らない	478	24.1%	135	29.2%	98	15.9%	245	28.5%
無回答	106	5.4%	24	5.2%	40	6.5%	42	4.8%
合計	1980	100.0%	463	100.0%	616	100.0%	901	100.0%

(34) 雪月花に関する自由記述 (FA) 【共通:市・問21 利・問20 駅・問24】

- 自由意見として 532 件の回答があり、「乗車してみたい」、「デザインが良い、素敵である、美しい、など」、「利用や予約の方法等がわからず、より一層のアピールが必要」、「運賃が高い」などの意見があった。

2.6 鉄道や路線バスを利用した理由について

(35) 鉄道、路線バスを利用した理由 (SA) 【利・問24】

- 最も多い回答は「車を持っていないから」、「ほかに手段がないから」であり、それぞれ 20.9%。
- 「お酒を飲む予定があるから」、「健康のため」、「長期の旅行や出張で駐車場代を節約したいから」、「鉄道や路線バスは便利だから」、「鉄道や路線バスを使うのが好きだから」等、公共交通を選んで利用している項目に対する回答は 40.1%。中でも「鉄道や路線バスは便利だから」の回答が 16.4%と多い。

2.7 利用促進事業について

(36) おでかけバスについて (SA) 【共通:市・問22 利・問25】

- 「知っている」と回答した人は全体の 30.3%。そのうち「利用している」は全体の 11.2%である。
- 「知っているが利用したことがない」と回答した人は 22.5%、「知らなかったし利用する予定はない」は 31.9%であった。

(37) ワンコインバスについて (SA) 【共通:市・問23 利・問26】

- 「知っている」と回答した人は全体の 58.5%。そのうち「利用している」は全体の 13.3%である。
- 「知っているが利用したことがない」と回答した人は 45.2%、「知らなかったし利用する予定はない」は 23.0%であった。

(38) 「バス教室」、「路線バス出張サロンよるまいか～」について (SA) 【共通:市・問24 利・問27】

- 「知っている」と回答した人は全体の 17.1%。そのうち「利用している」は全体の 1.2%と低い。
- 「知らない」と回答した人は 73.7%、「知らなかったし利用する予定はない」は 55.4%であった。

(39) 啓発チラシ「みんなでバスにのるまいか～」について (SA) 【共通:市・問25 利・問28】

- 「知っている」と回答した人は全体の 15.6%。そのうち「利用している」は全体の 3.5%である。
- 「知らない」と回答した人は 75.0%、「知らなかったし利用する予定はない」は 45.0%であった。

(40) 高齢者おでかけ支援タクシー券について (SA) 【共通:市・問26 利・問29】

- 「知っている」と回答した人は全体の 43.7%。そのうち「利用している」は全体の 5.2%と低い。
- 「知らない」と回答した人は 46.8%、「知らなかったし利用する予定はない」が 36.3%である一方、「知らなかったが利用してみたい」が 10.5%である。

2.8 北陸新幹線開業効果について

(41) 北陸新幹線の利用頻度 (SA) 【共通:市・問27 利・問30 駅・問27】

- 全体的に「年に数回」の回答が多く48.0%、次いで「一度も利用していない」が36.9%である。
- 利用者アンケートでは「週5日以上」の割合が他のアンケートと比較して多い。

(42) 糸魚川駅までの主な移動手段 (MA・ALL) 【共通:市・問28 駅・問28】

- 主な移動手段で最も多い回答は、「自分や家族が運転した車で、駅周辺の駐車場に駐車」で51.2%、次いで「家族等が運転した車で送迎」33.3%である。
- JR大糸線、えちごトキめき鉄道等公共交通の回答は12.3%であり、中でも路線バスの回答が最も多く5.8%である。

項目	回答数 合計	割合	市民アンケート		新駅周辺アンケート	
			回答数	割合	回答数	割合
自分や家族が運転した車で、駅周辺の駐車場に 駐車	399	51.2%	111	43.5%	288	54.9%
家族等が運転した車で送迎	260	33.3%	65	25.5%	195	37.1%
徒歩	79	10.1%	45	17.6%	34	6.5%
自転車	36	4.6%	13	5.1%	23	4.4%
原付・バイク	5	0.6%	1	0.4%	4	0.8%
JR大糸線	5	0.6%	4	1.6%	1	0.2%
えちごトキめき鉄道	34	4.4%	18	7.1%	16	3.0%
路線バス	45	5.8%	10	3.9%	35	6.7%
高速バス	2	0.3%	2	0.8%	0	0.0%
コミュニティバス	6	0.8%	0	0.0%	6	1.1%
乗合タクシー	3	0.4%	0	0.0%	3	0.6%
その他のバス(送迎バス等)	1	0.1%	0	0.0%	1	0.2%
タクシー	119	15.3%	32	12.5%	87	16.6%
その他の移動手段	7	0.9%	2	0.8%	5	1.0%
無回答	167	21.4%	64	25.1%	103	19.6%

※MAは(回答数)/(回答者数)として割合を算出しているため、合計が100%にならない

公共交通による移動手段

(43) 北陸新幹線が開業してからの行動の変化 (SA) 【共通:市・問29 利・問31 駅・問29】

- 市民アンケートでは「東京・関東方面への訪問回数」、「富山・金沢への訪問回数」、「外出の機会やおでかけの頻度」が「少し増えた」の回答が20.3%～30.3%である。特に、「東京・関東方面への訪問回数」は「増えた」とした人が41.7%であった。一方「新潟方面の訪問回数」は「減った」の回答が23.2%であった。
- 利用者アンケートでは、市民アンケートよりも「えちごトキめき鉄道の利用回数」、「路線バスの利用回数」等、公共交通の利用回数が「増えた」とする回答が多い。また、「歩く時間や距離」、「市内、市外での買い物頻度」が多い。
- 新駅周辺住民アンケートでは市民アンケートよりも「東京・関東方面への訪問回数」が多く、「新潟方面の訪問回数」が少ない。

	大いに増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	大いに減った
① えちごトキめき鉄道の利用回数	2.1%	12.6%	78.3%	2.1%	4.9%
② JR大系線の利用回数	0.0%	3.2%	93.7%	0.0%	3.2%
③ 路線バスの利用回数	2.4%	5.6%	87.1%	1.6%	3.2%
④ コミュニティバス等の利用回数	0.0%	2.5%	96.3%	0.0%	1.2%
⑤ 東京・関東方面への訪問回数	11.4%	30.3%	54.7%	1.0%	2.5%
⑥ 新潟方面への訪問回数	0.0%	5.7%	71.1%	9.4%	13.8%
⑦ 富山・金沢への訪問回数	8.0%	25.1%	61.1%	1.7%	4.0%
⑧ 関西方面への訪問回数	5.7%	8.5%	83.7%	1.4%	0.7%
⑨ 外出の機会やおでかけの頻度	5.0%	20.3%	72.5%	0.5%	1.8%
⑩ 歩く時間や距離	2.2%	4.8%	89.6%	1.7%	1.7%
⑪ 糸魚川市内での買い物頻度	0.8%	2.6%	91.3%	2.3%	3.0%
⑫ 糸魚川市外での買い物頻度	4.0%	9.6%	81.3%	2.8%	2.4%

市民アンケート

利用者アンケート

	大いに増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	大いに減った
① えちごトキめき鉄道の利用回数	2.3%	10.4%	74.4%	5.5%	7.5%
② JR大系線の利用回数	0.5%	1.0%	90.7%	2.1%	5.7%
③ 路線バスの利用回数	2.2%	4.9%	85.8%	3.4%	3.7%
④ コミュニティバス等の利用回数	1.1%	2.8%	90.3%	2.8%	2.8%
⑤ 東京・関東方面への訪問回数	11.7%	32.3%	53.9%	0.6%	1.5%
⑥ 新潟方面への訪問回数	1.3%	4.8%	64.1%	9.7%	20.1%
⑦ 富山・金沢への訪問回数	6.4%	25.4%	59.9%	2.9%	5.5%
⑧ 関西方面への訪問回数	3.1%	14.5%	77.5%	2.2%	2.8%
	大いに増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	大いに減った
① えちごトキめき鉄道の利用回数	11.0%	13.6%	67.1%	2.6%	5.8%
② JR大系線の利用回数	2.9%	4.6%	80.9%	2.9%	8.7%
③ 路線バスの利用回数	9.4%	9.4%	77.8%	1.5%	1.9%
④ コミュニティバス等の利用回数	0.7%	5.4%	89.2%	2.7%	2.0%
⑤ 東京・関東方面への訪問回数	11.7%	28.1%	57.3%	1.1%	1.7%
⑥ 新潟方面への訪問回数	2.0%	5.8%	70.5%	9.5%	12.2%
⑦ 富山・金沢への訪問回数	9.5%	23.5%	61.0%	3.7%	2.4%
⑧ 関西方面への訪問回数	3.7%	11.9%	77.6%	3.7%	3.0%
⑨ 外出の機会やおでかけの頻度	6.3%	22.2%	68.0%	1.9%	1.6%
⑩ 歩く時間や距離	3.3%	8.4%	82.4%	4.1%	1.8%
⑪ 糸魚川市内での買い物頻度	2.9%	5.7%	85.2%	4.9%	1.3%
⑫ 糸魚川市外での買い物頻度	3.0%	11.8%	82.4%	1.1%	1.6%

新駅周辺住民アンケート

(44) 北陸新幹線開業後の印象に関する自由記述 (FA) 【共通:市・問30 駅・問30】

■ 自由意見として 427 件の回答があり、「東京や関東方面、金沢方面への移動はとても便利になった」、「新潟県内、特に新潟市への移動が不便になった」、「糸魚川駅が明るく便利になった」、「新幹線の便数を維持してほしい」などの意見があった。「誘客」については賛否が分かれた。

2.9 将来の交通ニーズについて

(45) バス路線の必要性 (MA・ALL) 【共通:市・問31 利・問32 駅・問31】

- 「高齢者の外出・通院に欠かせないため必要」、「学生の通学に欠かせないため必要」と車を運転できない人の移動のために必要とする回答が多い。
- また、「車を使えないときに利用するため必要」、「将来高齢になったときに使いたいので必要」等、困ったときの移動手段としての利用されていると考えられる。
- 全回答者数では「不要」とする回答は6.7%、「車の方が便利だから不要」の回答が最も多く2.9%である。
- 市民アンケートよりも利用者、新駅周辺アンケートの方が「不要」とする回答が少ない。

項目	回答数 合計	割合	市民 アンケート		利用者 アンケート		新駅周辺 アンケート	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
学生の通学に欠かせないため必要	1353	68.3%	305	65.9%	388	63.0%	660	73.3%
高齢者の外出・通院に欠かせないため必要	1522	76.9%	361	78.0%	450	73.1%	711	78.9%
観光客やビジネス客などの来訪者の移動に欠かせないため必要	438	22.1%	100	21.6%	165	26.8%	173	19.2%
車を使えないときに利用するため必要	1006	50.8%	232	50.1%	281	45.6%	493	54.7%
将来高齢になったときに使いたいので必要	1030	52.0%	259	55.9%	284	46.1%	487	54.1%
自動車よりも環境にやさしいので必要	255	12.9%	48	10.4%	101	16.4%	106	11.8%
現在も使っており将来も利用したいので必要	324	16.4%	59	12.7%	157	25.5%	108	12.0%
人口流出を抑えるためにも必要	289	14.6%	78	16.8%	100	16.2%	111	12.3%
車の方が便利だから不要	57	2.9%	24	5.2%	13	2.1%	20	2.2%
公共交通は使わないので不要	34	1.7%	11	2.4%	10	1.6%	13	1.4%
多額の税金がかかるから不要	41	2.1%	17	3.7%	10	1.6%	14	1.6%
利用しない	54	2.7%	10	2.2%	29	4.7%	15	1.7%
無回答	164	8.3%	39	8.4%	58	9.4%	67	7.4%

※MAIは(回答数)/(回答者数)として割合を算出しているため、合計が100%にならない

(46) バス路線のサービスの在り方 (SA) 【共通:市・問32 利・問33 駅・問32】

- 全回答者数で最も多いのは、「補助金(税金)を引き続き投入し、現在のサービス水準のままで維持すべき」で40.0%。次いで「補助金(税金)をより多く投入し、路線数や運行本数を増やすべき」が15.4%であり、税金を投入しても現在のサービス水準を維持、または向上するべきとした回答が多い。
- 一方で、「収支状況の著しく悪い路線から廃止して別の移動手段を検討すべき」が12.3%である。

項目	回答数 合計	割合	市民 アンケート		利用者 アンケート		新駅周辺 アンケート	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
補助金(税金)をより多く投入し、路線数や運行本数を増やすべき	305	15.4%	74	16.7%	108	17.5%	123	13.7%
補助金(税金)を引き続き投入し、現在のサービス水準のままで維持すべき	792	40.0%	182	41.2%	238	38.6%	372	41.3%
運賃を値上げして、路線やサービス水準を維持、向上すべき	61	3.1%	14	3.2%	19	3.1%	28	3.1%
サービス水準は下げ、補助金(税金)投入を抑制すべき	56	2.8%	9	2.0%	23	3.7%	24	2.7%
収支状況の著しく悪い路線から廃止して別の移動手段を検討すべき	243	12.3%	62	14.0%	67	10.9%	114	12.7%
その他	124	6.3%	27	6.1%	38	6.2%	59	6.5%
無回答	378	19.1%	74	16.7%	123	15.3%	181	20.1%
合計	1959	100.0%	442	100.0%	616	100.0%	901	100.0%

(47) バス路線の再編のイメージ (MA・ALL) 【共通:市・問33 利・問34 駅・問33】

■再編のイメージでは、「現在の利用状況に見合った路線を検討し、幹線バスと支線(枝線)バスに再編するのがよい」が最も多く38.1%、次いで「運行本数が増え、待ち時間が短いならバスの乗換をしてもよい」が33.6%。

項目	回答数 合計	割合	市民 アンケート		利用者 アンケート		新駅周辺 アンケート	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
運行本数が増え、待ち時間が短いならバスの乗換をしてもよい	666	33.6%	149	32.2%	236	38.3%	281	31.2%
運行本数が増え、待ち時間が短くてもバスの乗換をしたくない	251	12.7%	64	13.8%	80	13.0%	107	11.9%
南北方向の路線が増えるなら東西方向の移動は鉄道を利用してもよい	202	10.2%	33	7.1%	71	11.5%	98	10.9%
東西方向の移動で鉄道を利用したくないので南北方向の路線は増やさなくてよい	34	1.7%	10	2.2%	8	1.3%	16	1.8%
現在の利用状況に見合った路線を検討し、幹線バスと支線(枝線)バスに再編するのがよい	755	38.1%	158	34.1%	225	36.5%	372	41.3%
将来的な需要が見込める区間を調査し、新規に路線を設けるのがよい	372	18.8%	81	17.5%	109	17.7%	182	20.2%
その他	106	5.4%	34	7.3%	28	4.5%	44	4.9%
無回答	372	18.8%	94	20.3%	115	18.7%	163	18.1%

※MAは(回答数)/(回答者数)として割合を算出しているため、合計が100%にならない

(48) 糸魚川市の公共交通について自由記述 (FA) 【共通:市・問34 利・問35 駅・問34】

- 自由意見として 583 件の回答があった。
- 「課題はあるが、学生や通勤通学利用のために公共交通は必要」、「いずれ(自分が高齢者になり)使うと思うので維持してほしい」、「通院のために必要」、「観光客等のためにも公共交通は維持すべき」など公共交通の維持に賛同する意見が多い。「不便にならないような再編」を求める意見もあった。
- 一方で、「駅の待合室やバスの待合場所を整備してほしい」、「乗客の少ないバス路線は小型車両で良い」、「えちごトキめき鉄道の車両数が減ったこと、少ないことへの不満(特に 1 両編成に対し)」、「鉄道、バスの運行本数への不満」、「バスの運賃が高い印象」、「路線がわかりにくく、時刻表等の利用するための情報が不十分」、「車両や移動経路のバリアフリー化」など改善点を具体的に指摘する意見があった。
- えちごトキめき鉄道の車両数減については「通学時間には全く座れない、勉強ができない」などの学生からの意見が多い。
- 個別路線、特定地域への具体的な要望があった。
- 「今は利用していないので」と記載する方が一定数あった。
- 財政面の課題等、市の公共交通の現状について一定の理解が得られたように思われる。